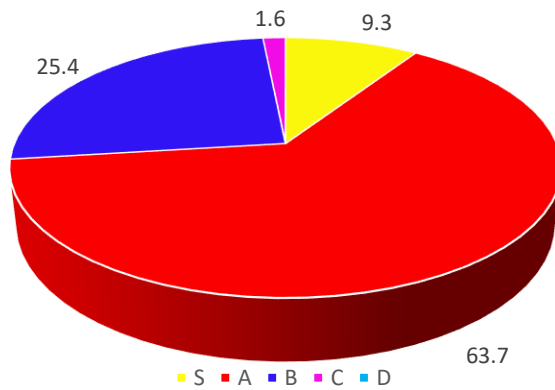


共通項目
(教育全般、組織の一員、職務の目的意識、研修)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

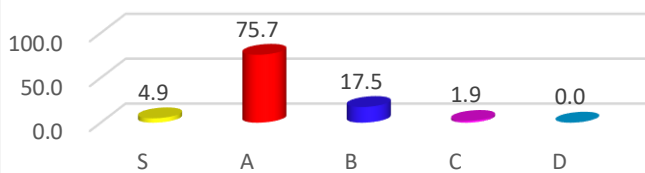
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

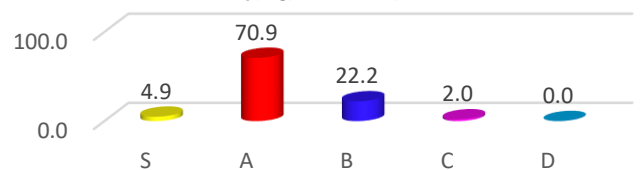
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

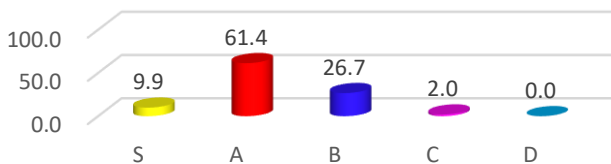
教育への取り組み



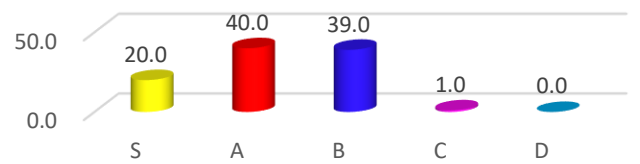
職務の遂行



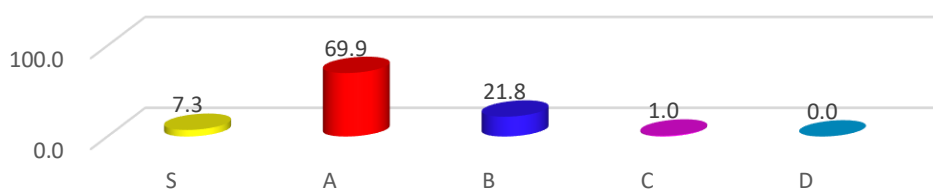
職務の積極性



自己の啓発研修



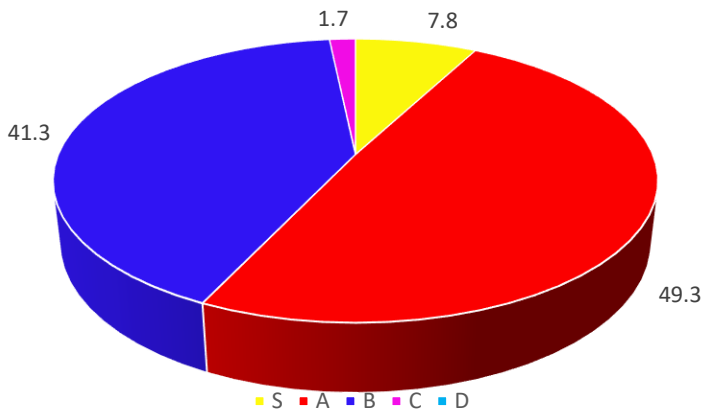
課題への対応



結果についての分析と改善策

教育全般、組織の一員、職務の目的意識に関して教職員全体の約90%がA・Bの高い評価をつけている。年末に行われる教員研修ではテーマを決め教師としての職務について高い意識改革をもって臨んでいる。その他の研修として毎朝の校長が資料を使い、ショート研修を実施してきた。教員に求められるものとして、教育基本法にもあるように、生徒を一人の人間として「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民」に育てるとい国民の願いに答えなければならない。そして、私たち教員の職務は、自らの問題意識と課題に向かう創意と工夫の活動を全うしなければならない。

学習指導(教科指導、学級活動、生徒会活動、学校行事)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

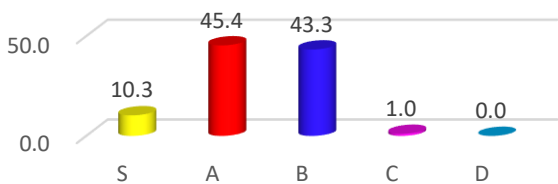
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

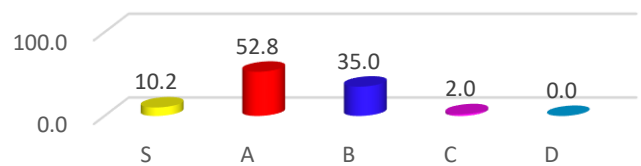
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

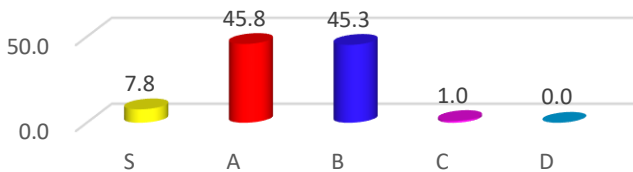
指導計画



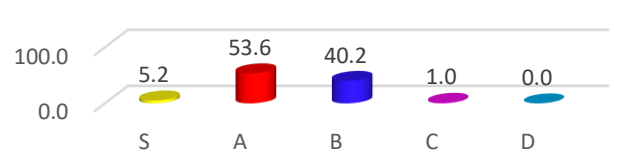
情報分析



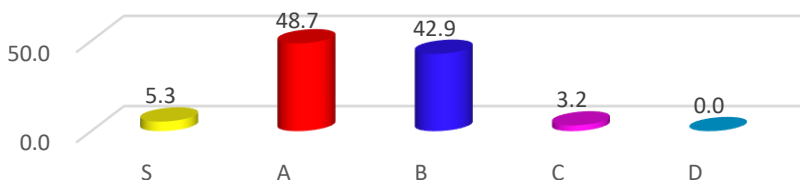
教科指導



目標達成



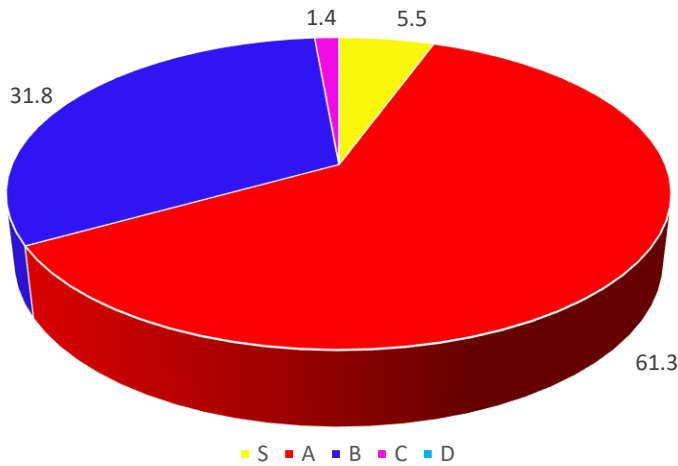
学習評価



結果についての分析と改善策

学習指導において、教員全体の約90%がA・Bの高い評価をつけている。コロナ禍が終息したが、コロナ禍で学んだICTを活用(スタディーサプリ学習支援サポートシステム)するなど様々な工夫をして授業等に取り組んでいた。生徒達の学力向上に繋げていきたい。行事については、コロナ禍以前に規模を戻しながら、ほぼ予定通り実施できた。次年度からの対策として、今まで以上にスタディーサプリの活用などICTを駆使した授業を展開したい。「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫された授業を展開することで、さらなる授業力の向上及び授業満足度の向上を図りたい。

学級経営・生徒指導



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

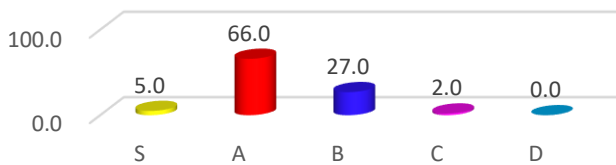
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

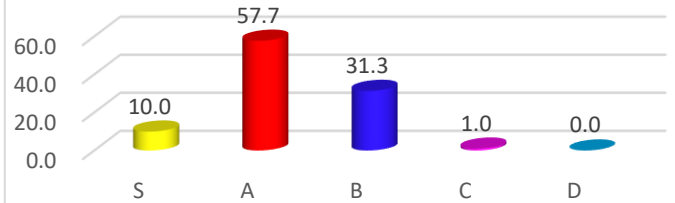
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

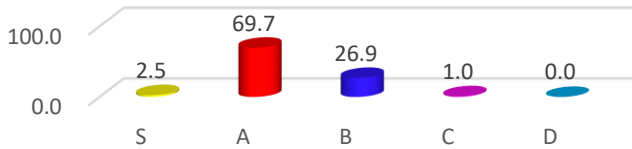
学級経営



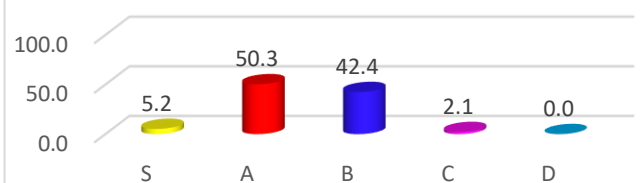
生徒理解



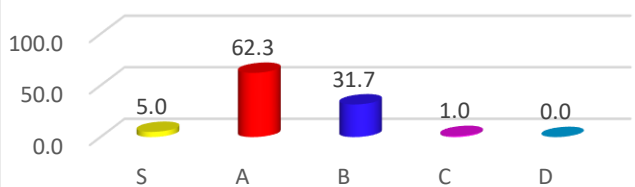
生徒指導



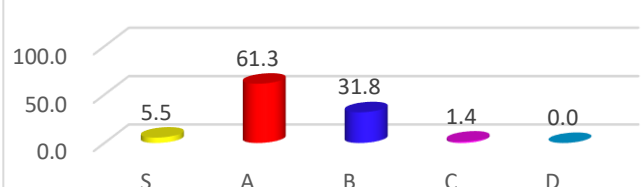
保護者説明



進路指導



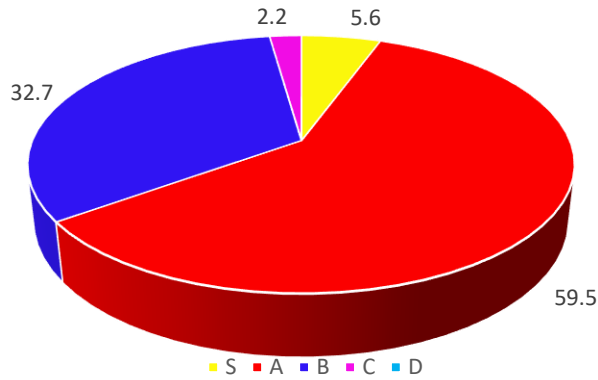
目標達成



結果についての分析と改善策

学級経営・生徒指導において、教員全体の約90%がA・Bの高い評価をつけている。年3回のいじめアンケートを実施し、実態把握と未然防止に努めた。校内では挨拶ができる生徒が多く、活力が感じられる。少数特定の生徒の遅刻が少数あった。多くの生徒は基本的な生活習慣が身についており、身だしなみについても概ね良好であった。自転車及び自動車との接触事故が数件発生した。事故内容はいずれも軽微であった。対策として、生徒の意識改革として講習会の開催や全教職員の共通理解を図り、家庭・地域・関係諸機関との連携に努めることが重要である。

学校経営(校務分掌、学年経営、家庭との連携)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

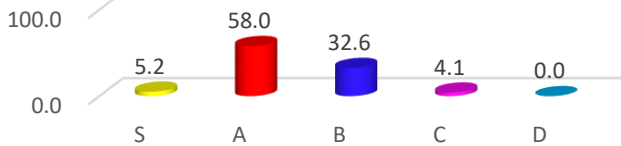
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

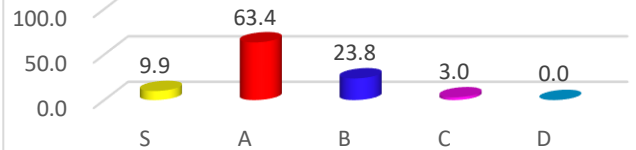
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

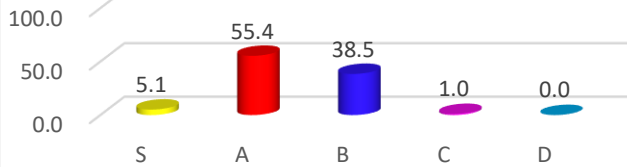
校務分掌



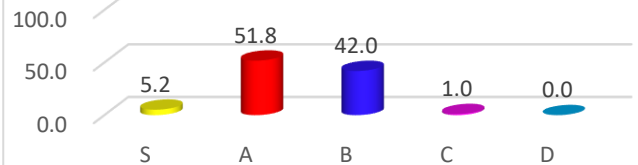
分掌経営



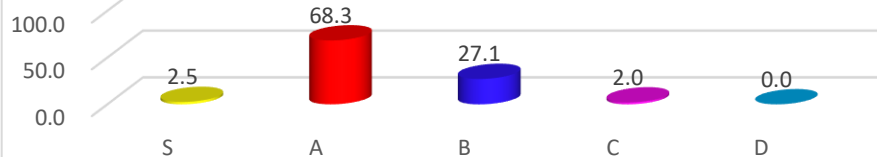
学年経営



家庭との連携



目標達成



結果についての分析と改善策

学校経営において、教員全体の約90%がA・Bの高い評価をつけている。生徒一人ひとりの能力、特性に合わせた学習指導をし、各種検定の資格取得に向け、担任、学年付、部活動顧問と一緒に指導している。ホームページやマチコミをこまめに更新し、生徒の学校での活動の様子をできるだけ早期に保護者に公表し、より深い信頼関係の構築を築いている。

学校の発展には、教職員の熱心な指導と保護者の協力が不可欠になる。学校の評価を高めるためにも、保護者からの学校に対する信頼度や満足度を高めていく。教育力を高め開かれた学校とするために、今まで以上に中高一貫教育事業の推進、高大接続連携の展開を積極的に進めていく。